



清荒神参道俳句会

一月二十一日初句会を開催。欠席投句を含め二十五名参加、高点句は次の通りであった。

黙読のこぼれる笑顔初みくじ 芳山

去年今年細りゆく月病窓に 郁子

古稀の妻紅は薄目の初鏡 忠

賜りし余命の一間初明り 梅野

書初や余生の事を一筆に 百樂

年賀状口だけ達者と添へてあり 和子

なにごともなくして幸せ屠蘇祝ふ 秀子

仕草まで母と似てきて初鏡 千津子

両細の箸にめでたき雑煮かな きよ子

初茜怒涛岩打つ熊野灘 博昭

日の丸も晴着も失せしお元日 百樂

